Scooot

取扱説明書

製品名： スクート（Scooot）移動機器

品番 414T44=30002

2015 年 5 月版

はじめにお読みください

この取扱説明書は、「スクート」の様々な機能と安全な使用方法をご説明するものです。安全と機器の保全に基づいた本書の説明をご理解いただくことで、本製品を快適にご使用いただくことができます。

目　次

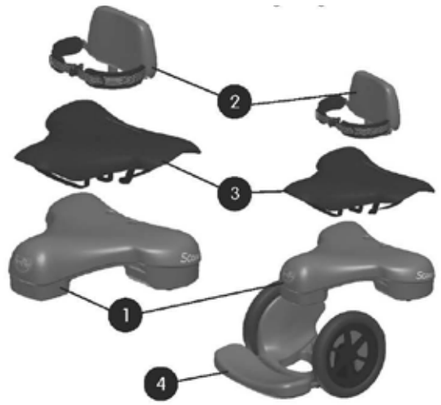
１．使用目的
２．本製品の安全規格について
３．保証期間について
４．安全にご使用いいただくために
５．製品のお手入れの方法について
６．製品の再利用について
７．製品の日常点検について
８．プロダクトサービス
９．使用方法について
１０．テクニカルインフォメーション
１１．よくあるご質問

1．使用目的

スクート（Scooot）は、お子様の身体的また認知能力の発達に合わせて、お子様が自由に遊んだり、探検をしたり、ご家族や他のお友達と一緒に活動することを目的とした移動機器です。
スクートは室内での使用を目的に作られています。

スクートはお子様の症状や発達段階に合わせて、下記の 3 通りの使い方ができ、遊びや日常生活を通じて、身体のコントロールやコミュニケーション力を伸ばすことができます。
「クロール」：お腹をスクートに付けて足や手を動かしながらハイハイで移動します。
「スクート」：スクートにまたがり、足を使って移動します。
「ライド」：車いすのように手でタイヤを回して移動します。
スクートは 2 歳から 6 歳位までのお子様用に設計されていますが、お子様の腰回り、脚の長さ等、身体の大きさにより使用が限られます。（適応サイズは第 10 項をご覧ください。）

スクートは下記のパーツで構成されています。
1. ベース
2. 背もたれ
3. クッションパッド
4. フットサポートとタイヤ
（耐荷重：22Kg）



スクートを安全にご利用いただくために、介助者は、常に「第 4 項 安全にご使用いただくために」の記載事項に従いご使用いただきますようお願いします。製品が、取扱説明書に準じて使用されなかった場合、特にスクートは室内での使用を目的として製造されておりますので、屋外で使用された場合は、製造元である James Leckey Design Ltd. はいかなる責任も負いかねます。

2 . 本製品の安全規格について

Firefly 製品の製造・販売元である James Leckey Design Ltd. は、「スクート」が 93/42/EEC 規格、及び福祉用具規格 EN12182 の規格に準拠していることを宣言します。

3 . 保証期間について

本製品の保証は、本製品がメーカーの推奨する使用環境、および使用目的に沿って使用された場合のみに適用されます。製品の保証期間は 1 年間です。
製品のご購入後 12 カ月間は、製造方法や品質による不良・破損に対する交換を受け付けています。
ご利用中に発生した汚れ、破損等は保証の対象外となります。

4．安全にご使用いいただくために

注意

1. ご使用の前には、常に本取扱説明書を全てお読みください。

2．ご使用の前に、全てのパーツが確実に取り付けられていることを確認してください。

3．スクートを改造したり、付属品以外のパーツを取り付けて使用することはしないでください。

4. 取り外したボルト、ワッシャーや工具等はお子様の手の届かない所に置いてください。お子様が飲み込んだり、のどに詰まらせることがあります。

5．本製品を使用されている間は、お子様を一人にしないでください。

6．取扱説明書に従って使用されない場合、製品保証が適用されないことがあるだけでなく、ご利用者（お子様）や介助者に危険がおよぶおそれがあります。

7．本製品は必ず平らな場所で使用をしてください。

8．本製品は室内で使用するために設計されています。製品を使用されない場合は、湿気のない、常温の場所に保管してください。極端な高温または低温の環境では保管しないでください。

9．調整をした後は、シートベルトのバックルがしっかり締まっていて、座っているお子様に的確にフィットしていることを確認してください。ライドで使用しているときは、フットサポートからお子様の足が出ないように調整をしてください。

10. 本製品は、EN1021-1 規格に沿った難燃性の部品を使用していますが、火やタバコ、暖房器具などの熱源から常に離してご使用ください。

11. 本取扱説明書の第 5 項に従って、製品を常に清潔に保ってください。研磨剤を含んだクリーナーを使用しないでください。製品を安心してご使用いただくために、定期的にメンテナンスを行なってください。

12. 本製品の安全な使用に関して、不安や不明な点が発生した場合や、部品が破損、紛失した場合には、直ちに製品の使用を中止し、オットーボック・ジャパン（株）（TEL:03-3798-2111）まで連絡してください。

13. 本製品を安全に、適切にご使用いただくために、使用時はスニーカー等の底の平らな靴を着用してください。はだしやサンダル、スリッパ等での使用は避けてください。

14. お子様がけがをする恐れがありますので、お子様を無理に移動させようとしないでください。

15. ライドの状態に組付ける場合は、必ずタイヤガードを取付け、第 9.2 項に従い、フットサポートを適切に調整してください。

16. 本製品のパーツが無くなった場合は、指定しているパーツ以外を使用しないでください。スペアパーツのご用意がありますので、直ちに製品の使用を中止し、オットーボック・ジャパン（株）（TEL:03-3798-2111）まで連絡してください。

17. お子様が本製品を使用される場合は、周りに充分注意をしてください。家具にぶつかる等で、お子様がけがをする恐れがあります。

18. 本製品は階段や段差のそばでは使用しないでください。

19. お子様が本製品に乗る際には、製品が動かないように固定できる場所に置いてください。製品を手でしっかり押さえるか、壁にぴったりとつけて動かないようにしてください。

20 本製品はブレーキがありませんので、平らな場所以外での使用は止めてください。

5. 製品のお手入れの方法について

プラスチック部分のお手入れ

スクートのプラスチック部分はお湯で薄めた洗剤を柔らかい布やスポンジに含ませて、汚れをふき取ってください。研磨剤が入った洗剤を使用すると、製品に傷がつく恐れがあります。また、漂白剤の入っている洗剤を使用しないでください。

シートベルトとクッションのお手入れ

- ベルトは付属の工具を使用してバックル部分を取り外してください。取り外した部品はお子様の手の届かない所に保管してください。

- バックルを取り外したベルトとクッションは 40℃以下のぬるま湯で、洗濯機で洗うことができます。色落ちする場合がありますので、最初に洗濯をするときには、他の衣類とは一緒に洗わないでください。

- ベルトとクッションは乾燥機を使用したり、アイロンをかけることは避けてください。

- シミなどがついた場合は、吸水性のある布やタオル、スポンジなどを使って、できるだけ早く拭き取ってください。手洗い用の石鹸をぬるま湯に溶かしたものをスポンジに含ませて拭くと、汚れが取れやすくなります。布地を濡らしすぎると、汚れが拡がるおそれがありますので、ご注意ください。

- 特に汚れがひどい場合には、殺菌性のある洗剤を使用してください。洗剤を完全に落としてから、再度スクートを使用してください。

- ベルトやクッションのシミを取るのに溶剤を含んだ洗剤は使用しないでください。また、製品を漂白しないでください。

- ベルトやクッションはドライクリーニングをしないでください。

6．製品の再利用について

製品を再利用される場合には、第 5 項に従って、完全にクリーニングされていることを確認してください。また、再利用される製品が改造されていたり、特別な装備が含まれていないかを確かめてください。取扱説明書を製品に必ず添付してください。本製品の安全な使用に関し、不安や不明な点が発生した場合や、部品が破損、紛失している場合には、直ちに製品の使用を中止し、オットーボック・ジャパン（株）（TEL:03-3798-2111）まで連絡してください。

7．製品の日常点検について

スクートを安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず点検を行ってください。特に下記の点に注意して点検をしてください。

クロールで使用している場合

1. 第 9.2 項を参照してクッションがしっかりと設置されているかを確認してください。

2. クッションパッドを止めているゴムストラップが摩耗したり、切れていないか、またキャスター等の他の部分に引っかかっていないかを確認してください。

3. ゴムストラップがねじれていないかを確認してください。

4. キャスターがしっかりと固定されているか確認してください。

スクートで使用している場合

5. 背もたれがベースにしっかり固定されているかを確認してください。背もたれがぐらつく場合はベース裏側のボルトをしっかり締めてください。

6. クッションパッドが安全に固定されているか、上記の 1-3 を確認してください。

7. ベルトが背もたれにしっかりと固定されているか、バックルが正しくとめられるかを確認してください。

8. キャスターがしっかりと固定されているか確認してください。

ライドで使用している場合

9. タイヤがしっかりと組みつけられているかを確認してください。

10. 背もたれがしっかりと固定されているか上記の 5 を確認してください。

11. クッションパッドを使用されている場合は、上記の 1-3 で安全に固定されているかを確認してください。

12. タイヤが適切に固定されているか、確認してください。（第 9.2 項、ステップ 4-7 を参照ください）

13. フットサポートがお子様の足の長さに合わせて調整されているかを確認してください。

14. フット―サポートがしっかり固定されているかを確認してください。

15. 前のキャスターがベースから取り外されているかを確認してください。

本製品の安全な使用に関して、不安や不明な点が発生した場合や、部品が破損、紛失した場合には、直ちに製品の使用を中止し、オットーボック・ジャパン（株）（TEL:03-3798-2111）まで連絡してください。

8. プロダクトサービス

製品に、製造方法や品質による不良が見つかった場合、保証期間内であれば、修理または交換を受け付けています。
ご使用によって生じた破損や汚れは、保証の対象外となります。
不明な点がございましたら、オットーボック・ジャパン株式会社（03-3798-2111）まで連絡してください。

9．使用方法について

9.1　スクートはどのようなお子様に適しているのでしょうか？

スクートは小さなお子様向けの移動機器です。一人では上手く動くことができないお子様に、思いのままに動くという楽しみを経験をしてもらうことを目的に作られています。2 歳～ 6 歳位までの、GMFCS レベルが 1-4 までのお子様向けに設計されています。（適応年齢、GMFCS レベルはお子様の身体の大きさや発達段階にもよります）

お子様が一人で頭部を支えることができ、骨盤部分を少しサポートしてあげれば床に座れる位に自分の体幹をコントロールできるお子様なら、3 パターンのスクートを楽しむことができます。お子様が頭部や体幹を上手くコントロールできなかったり、座ることが難しい場合はスクートを楽しむことは難しいかもしれません。

9.2　スクートが届いたら

スクートの箱を開けるときは、カッターなどの刃物で、中の製品を傷つけないように注意してください。製品はポリエチレン製の袋に入っています。製品を取り出し、全ての部品が揃っているかを確認してください。

注意：安全のために、ポリエチレン製の袋はお子様の手の届かない所に置いてください。

スクートの組立方法

お手元に届いたスクートは組立てに必要なすべてのパーツと工具が同梱されています。

どのパターンの使い方をするか、下記から選んでください。

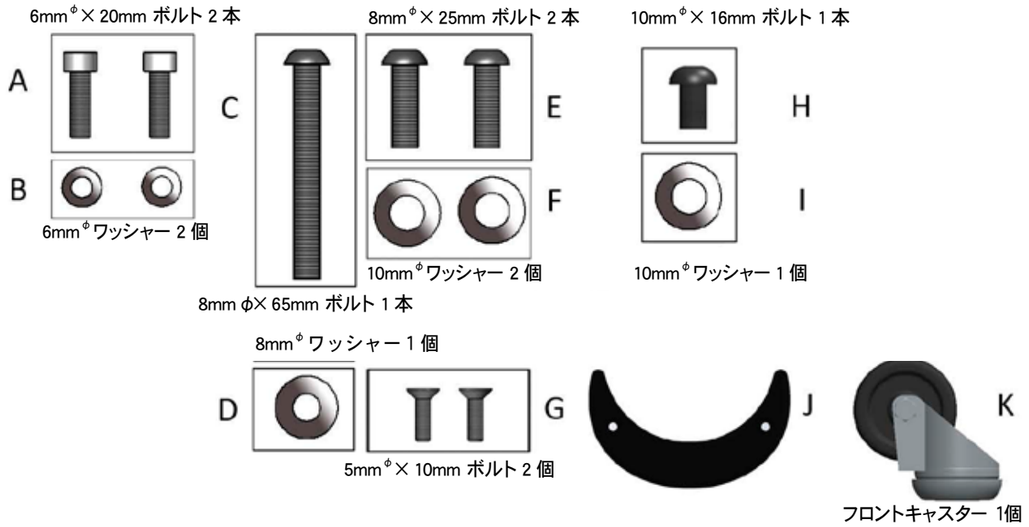
「クロール」で楽しむ場合はステップ 1 と 2 をご覧ください。
「スクート」で楽しむ場合はステップ 1 ～ 3 をご覧ください。
「ライド」で楽しむ場合はステップ 1 ～ 7 をご覧ください。

クロール
（ステップ 1 と 2）

スクート
（ステップ 1 ～ 3）

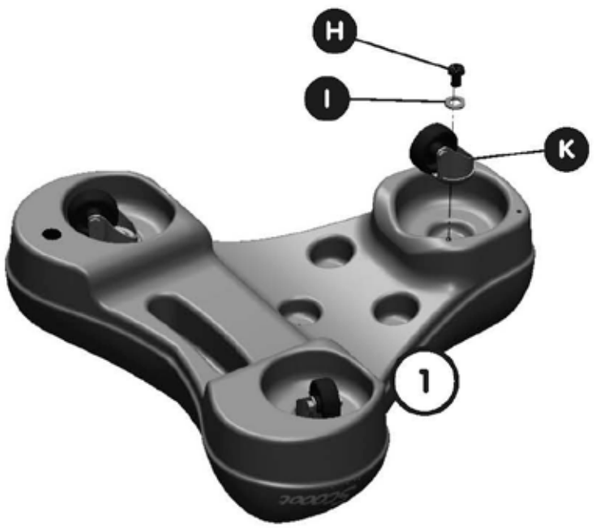
ライド
（ステップ 1 ～ 7）

同梱パーツ



ステップ 1)

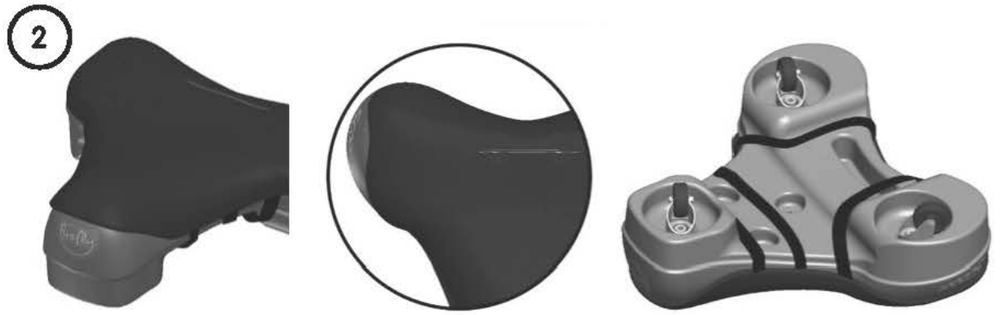
ライドで使用する場合はキャスターを取り付ける必要はありません。
スクートを「クロール」と「スクート」で使用する場合は、前方のキャスターを取り付ける必要があります。
キャスター（写真 K）と写真 H のボルトと I のワッシャーを使用して、スクートのベースに付属の工具を使用してキャスターを写真のように取付けてください。



ステップ 2)

クッションパッドをベースに取付けます。クッションパッドの柔らかい面を上にしてゴムストラップでベースに取付けてください。その際にベースに背もたれを取り付ける穴が 2 個ありますので、クッションパッドの切り込みがある部分を穴に合わせてセットしてください。
●これでクロールとして使用する準備が整いました。

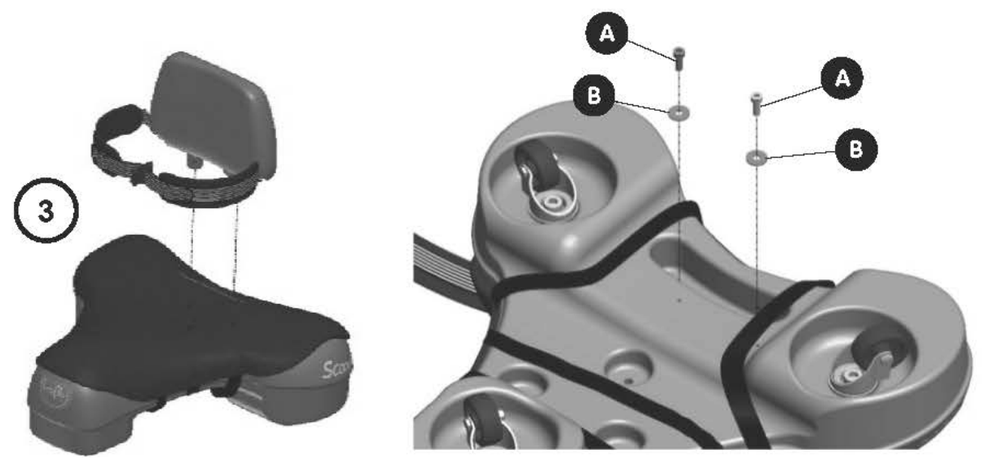
注意	● 写真のようにゴムストラップでクッションパッドをベースに取付けた際に、キャスター部分にストラップが掛からないように注意してください。



ステップ 3)

ベースにクッションパッドを取付けたら、次に背もたれの突起がある部分を下にして、ベースに背もたれを差し込みます。両方の突起部分がしっかりベースにはまるように差し込んでください。ベースをひっくり返して、A のボルトと B のワッシャーを使用して、背もたれを固定します。付属の工具でボルトを締めて、しっかりと固定してください。背もたれがぐらぐらしていないかを確認してください。
●これでスクートを使用する準備ができました。

注意	● 背もたれがぐらつく場合は、再度ボルトをしっかり締めてください。

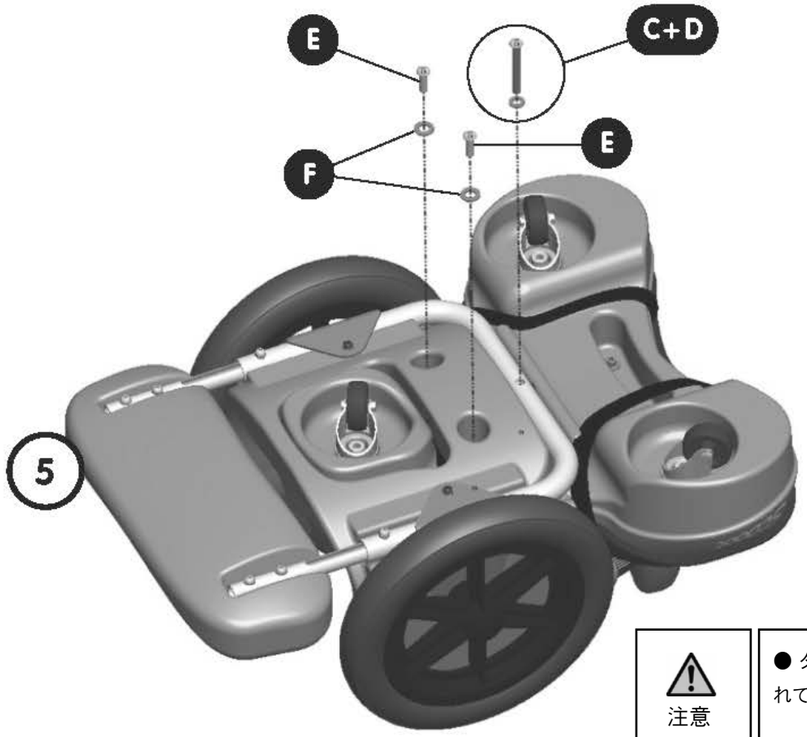


ステップ 4）

ベースの前方を持ち上げてフットサポートとタイヤの 3 つの突起をベースの裏側にある 3 つの穴にそれぞれ差し込み、取り付けます。

ステップ 5）

ベースをひっくり返して、付属の工具で写真のようにボルトとワッシャーを使用して、3 ヶ所でフットサポートとタイヤを固定します。（E のボルトと F のワッシャーで中央の 2 ヶ所を固定、C のボルトと D のワッシャーで 1 ヶ所を固定します。）

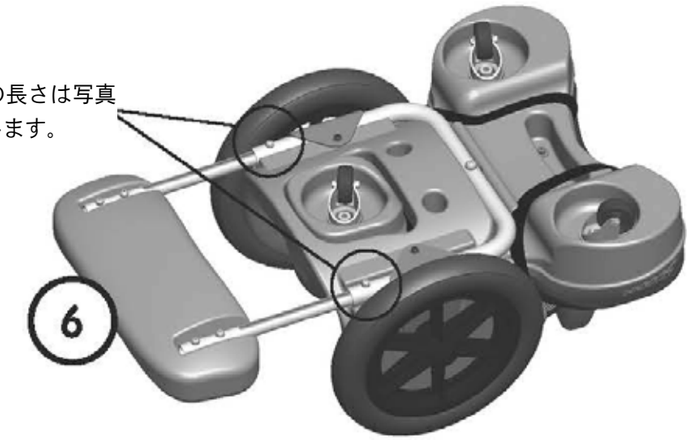


⚠ 注意	● タイヤがしっかり組みつけられているかを確認してください。

ステップ 6）

お子様の足の長さに合わせてフットサポートの長さを調整します。ボルトを緩めると、フットサポートを前後に動かすことができます。希望の位置で再度ボルトをしっかりと締めてください。

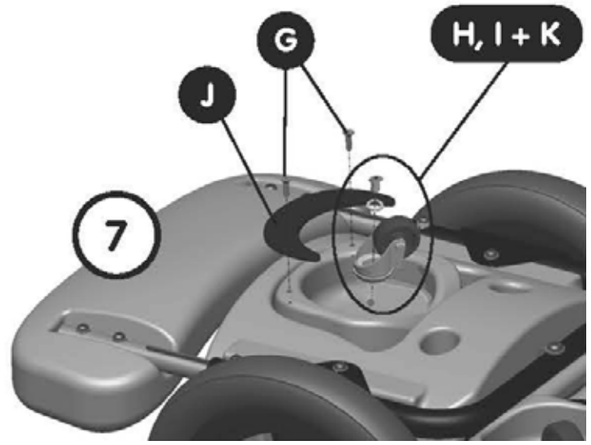
フットサポートの長さは写真のボルトで調整します。



⚠ 注意	● お子様がスクートを使用される前にボルトがしっかり締まっているかを確認してください。

ステップ 7）

G のボルトを使用して、ベースの前方に、馬蹄型のプレート（J）を写真のように 2 ヶ所で固定します。
キャスターを取り付けて使用していた場合は、最後に前方のキャスターを取り外します。
キャスター（K）と H のボルトと、I のワッシャーは大切に保管しておいてください。
●これでライドを使用する準備ができました。



9.3　お子様をスクートに乗せましょう。

スクートを使い始める前に、全てのパーツがしっかりと固定されているか、お子様の足の長さに合わせてフットサポートが調整されているかを確認してください。クッションパッドを止めているゴムストラップが摩耗したり、切れていないかを確認してください。切れていたり、摩耗している箇所があった場合は、直ちに製品の使用をやめて、オットーボック・ジャパン（株）（TEL：03-3798-2111）までご連絡ください。
お子様がスクートに乗る際にはスクートが動かないように固定できる場所に置いてください。スクートを手でしっかり押さえるか、スクートを壁にぴったりとつけて動かないようにしてください。

①クロールで動いてみましょう。
クロールで使用する場合は、クッションパッドを取り付けてください。
（取り付け方は第 9.2 項のステップ 2 を参照ください。）

写真のようにお腹をベースに付けます。その際、お子様の頭は FireFly のロゴマークがついている所にくるようにしてください。

⚠ 注意	● スクートはブレーキがついていませんので、スロープのあるところでは絶対に使用しないでください。必ず平らな場所で使用してください。使用中はお子様がキャスターに触れないように、注意してください。

②スクートで動いてみましょう。
スクートを使用する前に全てのパーツがしっかりと固定され、調整されていることを確かめてください。クッションパッドを止めているゴムストラップが摩耗したり、切れていないかを確認してください。切れていたり、摩耗している箇所があった場合は、直ちに製品の使用をやめて、オットーボック･ジャパン（株）（TEL：03-3798-2111）までご連絡ください。

お子様がスクートに乗る際には、スクートが動かないように固定できる場所に置いてください。スクートを手でしっかり押さえるか、スクートを壁にぴったりとつけて動かないようにしてください。

スクートで使用する場合はクッションパッドを取り外しても構いません。背もたれが第 9.2 項ステップ 3 で説明したように、しっかり取付けられているかを確認してください。

背もたれについているベルトのバックルを開き、お子様の背が背もたれにつくようにスクートに乗せてください。お子様が前に倒れないように腰の上でバックルを留めます。左右のベルトの先の D リングを引っぱり、お子様に合わせてベルトの長さを調整します。ベルトがねじれていないかを確認してください。
スクートはお子様が自分の足を使って、前や後ろに動いたり、曲がることができます。

⚠ 注意	● スクートはブレーキがついていませんので、スロープのあるところでは使用しないでください。必ず平らな場所で使用してください。使用中はお子様がキャスターに触れないように、注意してください。
⚠ 注意	● スクートで動き出す前に、お子様が快適かつ安定して座っているかベルトの位置や長さ等を確認してください。

②ライドで動いてみましょう。
ライドで使用する前に全てのパーツがしっかりと固定され、調整されていることを確かめてください。クッションパッドを止めているゴムストラップが摩耗したり、切れていないかを確認してください。切れていたり、摩耗している箇所があった場合は、直ちに製品の使用をやめて、オットーボック・ジャパン（株）（TEL:03-3798-2111）までご連絡ください。

お子様がスクートに乗る際には、スクートが動かないように固定できる場所に置いてください。スクートを手でしっかり押さえるか、スクートを壁にぴったりとつけて動かないようにしてください。

ライドで使用する際はクッションパッドを取り外しても構いません。背もたれが第 9.2 項ステップ 3 で説明したように、しっかり取付けられているかを確認してください。

お子様の足がフットサポートからでないようにフットサポートの位置を調整してください。（調整の仕方は 9.2 項ステップ 4 ～ 6 で説明されています。）

背もたれについているベルトのバックルを開き、お子様の背が背もたれにつくようにスクートに乗せてください。お子様が前に倒れないように腰の上でバックルを留めます。左右のベルトの先の D リングを引っぱり、お子様に合わせてベルトの長さを調整します。ベルトがねじれていないかを確認してください。

⚠ 注意	● ライドで動き出す前に、お子様が快適かつ安定して座っているかベルトの位置や長さ等を確認してください。

ライドはお子様が自分でタイヤを使って移動することができます。両側のタイヤを前に押すと前方に、後ろに押すと後方に動きます。右側のタイヤだけを押すと左に回り、左側のタイヤを押すと右に曲がります。反対に右側のタイヤを後ろに押すと右に回り、左側のタイヤを後ろに押すと左に回ります。

注意	● タイヤは室内で動き回れるように滑らかにできています。スクートはブレーキがついていませんので、スロープのあるところでは使用しないでください。必ず平らな場所で使用してください。お子様が自由にライドを操れるようになるまで、注意をしてください。
注意	● ライドで動き出す前に、お子様が快適かつ安定して座っているかベルトの位置や長さ等を確認してください。

9.3　スクートとお子様の発達について

お子様がどのパターンでスクートを使用していても、お子様は楽しみながら、身体的に、また認知や感覚能力を発達させることができます。

動くことは認知能力を発達させます。お子様が前や後ろ等の方向の認識するだけでなく、障害物を避けるために必要な奥行きや距離の感覚を学ぶ助けになります。動くことで身体意識が向上し、お子様自身が環境とどのように関係しているか、認識を深めることができます。スクートを操作することで、視覚と手の協調関係を向上させます。更には、足や腕、首、お腹、背中等の身体の部位を様々に組み合わせて、訓練することができます。「クロール」や「ライド」で手を使用することで、様々な感覚的経験を得ることができ、肩の力を鍛え、体幹のコントロールを向上させます。
しかし、スクートを使用しているお子様はそのようなことには関心がなく、走り回ったり、兄弟と競争したり、一人で自由に動き回る楽しさに夢中です。

１０．テクニカルインフォメーション

フットサポートの長さ（背もたれから）： お子様の足の長さ（座った時の背中からつま先まで）	最少：52cm　最大：63cm
タイヤの径	23cm
座幅（お子様の腰の幅の最大値と考えてください）	23cm
背もたれの幅	23cm
背もたれの高さ（ベースから）	16cm

製品のサイズ（奥行 x 幅 x 高さ）	
クロールで使用の場合	46cm x 50cm x 16cm
スクートで使用の場合	62cm x 50cm x 32cm
ライドで使用の場合	最少設定：62cm x 50cm x 32cm 最大設定：73cm x 50cm x 32cm

このサイズ表はあくまでも目安として使用してください。
必要があれば、お子様が使用されている短下肢装具、体幹装具等を考慮してください。

１１．よくあるご質問

1. スクートはどのような子どもに適していますか？
スクートは小さなお子様向けの移動機器です。一人では上手く動くことができないお子様に、自由に動くという楽しみを経験をしてもらうことを目的に作られています。2 歳～ 6 歳位までの、GMFCS レベルが 1-4 までのお子様向けに設計されています。（適応年齢、GNFCS レベルはお子様の身体の大きさや発達段階にもよります）

お子様が一人で頭部を支えることができ、骨盤部分を少しサポートしてあげれば床に座れる位に自分の体幹をコントロールできるなら、3 パターンのスクートを楽しむことができます。お子様が頭部や体幹を上手くコントロールできなかったり、座ることが難しい場合はスクートを楽しむことは難しいかもしれません。

2. スクートを使用できない場合はありますか？
お子様の緊張が強い場合やハムストリングスの短縮・緊張の症状がある場合は、担当のセラピストに相談をしてください。

3. 1 日にどの位スクートを使用すべきでしょうか？
お子様の能力やその日の気分や時間帯によります。お子様に合わせてあげてください。ただし、お子様が疲れすぎて、他の事ができなくならないように指導してあげてください。

4. 1 週間にどの位スクートを使用すべきでしょうか？
お子様がスクートを喜んで使用している場合は、毎日使用しても構いません。姿勢や感覚に問題が発生した場合は、少し時間を空けて使用すると良いかもしれません。

5. 特定のパターンでスクートを使用するのを嫌がります。どうしたら良いでしょう？
スクートはお子様が楽しみながら、お子様の発達をサポートすることを目的に設計されています。「クロール」は重力に逆らって頭をあげなければいけない姿勢を取るので、多くのお子様にとっては難しく、気に入らない場合もあります。頭部のコントロールを発達させるために、少しずつでもクロールで遊ばせたいという保護者の方もいらっしやるかもしれませんが、お子様の状況に合わせてください。全てのパターンを習得させる必要はありません。

6. 子どもの筋緊張が高すぎる、又は低すぎる場合に、スクートを使用できますか？
筋緊張が高すぎたり、低すぎる場合はスクートの使用が難しいかもしれません。担当のセラピストに相談をしてください。

7. 体幹をコントロールするためにサポートが必要です。スクートにはサポート力の高い背もたれはありますか？
スクートの背もたれは一種類だけです。使用しているお子様の能力と安定感、サイズ、価格を考慮して作られています。お子様が骨盤や体幹に更なるサポートが必要になる場合は、保護者の方のサポートがないとスクートを最大限には活用できないかもしれません。質問 1 を参照ください。

8. スクートを外で使用することができますか？
スクートは室内での使用を目的に設計されていますので、安全上の問題で外での使用はできません。

掲載内容の無断使用禁止
掲載されている内容、文章、画像については、無断で使用もしくは転載することを禁止します。

販売元
オットーボック・ジャパン株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-4-44 横河ビル8F
TEL：03-3798-2111（代表） FAX：03-3798-2112
www.ms.ottobock.jp

製造元
www.fireflyfriends.com
Firefly
19C Ballinderry Road, Lisburn, BT28 2SA, Northern Ireland
UK 0800 318265 ROI 1800 626020

MS_IFU_U_(Firefly IFU LS328-02) Scooot_2015_0501